

別記様式（第7条関係）

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会
- 2 会議日時 平成29年3月27日（月） 午後7時30分から
午後8時20分まで
- 3 開催場所 富士川町役場本庁舎 1階会議室
- 4 出席者数
 - (1) 委員 8名
 - (2) 事務局 4名
 - (3) 傍聴者 0名
- 5 議題
 - (1) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の効果検証について
 - (2) その他
- 6 会議資料の名称 別添のとおり
- 7 発言の内容
 - ①開会
 - ②委嘱状の交付
 - ③あいさつ
 - ④役員の選出
委員長に杉田洋一氏、副委員長に志村一彦氏を選出
 - ⑤協議事項

(1) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金について

事務局が資料を用いて説明

○委員：プレミアム商品券についてであるが、1億2,500万円という大きな規模の事業であり、大変好評であったと思っている。翌年も引き続き行うという話もあったと思うが、行わなかった理由は何か。

事務局：この事業については、国から交付金をもらって行ったが、国からの交付金がなくなったため、事業実施を見送った。

○委員：機会があったら今後行ってほしい。

○委員：学校給食費について、平成27年と平成28年を比べて40人減っており、平成28年と平成29年を比べて18人減っており、歯止めがかかったと言う話になっているが、これは実際転入生、転校生などの数字でなければ増えたとか減ったとかその年の生徒の数はまちまちだと思うので、その説明は何かあるのか。

事務局：この事業の評価するときの目標が児童・生徒数の維持にしているので、今回このような数字で示したが、今の意見を参考にして、今後分析を進めていきたい。

(2) その他

○委員：検証の方法は、この先どのようにしてやっていくのか。

事務局：この事業は5年間の期間で総合戦略を策定した。5年後の目標設定があるので、毎年度の進捗状況や事業の変更なども含めて委員の皆さんに諮っていきたい。

○委員：今後このような機会があった場合には、具体的な事業内容を示してほしい。

○委員：委員会のサイクルは毎年度末になるのか。

事務局：事業は年度が終了してから庁内で検証してからになるので、年度の後半になると思う。

○委員：年度末になるのか。

事務局：事業の変更などがあれば、途中で集まっていただく場合もあるが、検証は年度の後半を今のところ予定している。

○委員：結果を踏まえて新しい施策を考えると、1年先でないと方向が見えてこない気がするが。

事務局：検証が後半になってくるとその結果によって遅れているものを見直して方向性を変えることが遅れてくることも想定されるので、担当課とも協議する中で、できるだけ前倒しで行っていきたい。

○委員：この会議とは直接は関係ないが、参考意見として聞いてほしい。プレミアム商品券などいいことだと思うが、千葉県での事件などもあったことも受け、本町でも何かあった場合には、看板がある家に駆け込むといったものもあったが、今では色あせ見えなくなっているものもある。若い人たちに本町では安心して子どもを学校に通わせることができるということを浸透させれば本町の活性化に繋がっていくと思うので、こういったところにも目を向けてほしい。

⑥ 閉会